



閑話句漫筆集稿 (35) 死と雪魔

大井川幸隆

例へば、一月や二月に死は否めまい。死なば四月、八月といふ言...

恩讐無道 次回時代小説豫告

△陸軍少年航空兵の制度設けらる (昭和八) △櫻島の噴火 (大正三) △勅諭小野寺、吉田、深井、下村の四氏決定 (昭和一二) △我陸軍部隊青島上陸 (一一一三)

新春吟

島田忠夫

○皇軍はすでに飽くまでたかひて雪積む陣に年むかへけり

○わが皇軍ひた押し押ししてしりぞかす神ながらなる方おもはゆ

Table with weather forecast and other small notices.

天気豫報 今夜も明日も北西の風

て、對面するまでの間が、破されてある。『といふ...

それを聞いた伊豆守信綱「うむ、頭垂つたか。苦...

老人は、小石用水邊の...

育英廿年辱官表 旗書感 (其二) 入道野校 柳原 輝



「君には、御機嫌悪く大體何處までその叛逆網を...

院醫波難 小兒科 入院 應 需 自炊の便あり

平銅鐵機械商會 此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統...

第一線 慰問品ニハ 見不知羊羹と 潮の華

泉屋菓子店 平市五丁目 電話 六六八

メガネ専門の店 玉屋 平市本町二丁目

お醤油は... ヤマフル 山崎合名會社 電話 二七〇番

むぎとろ 御料理 出前迅速 是非！御試食下さい

石綿ムシカマド 實用新案 第一八七四三〇號

和洋銅物 金物問屋 笠屋商店 平市五丁目

磐城の御みやげ品 靈降羊かん (名産補糖)

平屋賣店 製造發賣元 小川 電話 〇三

ラヂオの故障は 放送局指相談所へ 御買求めは...

故障の起らぬ 原口のラヂオ 専門店へ 原口無線電機株式會社代理店

男女工募集 見雜 習役 各若干名 希望者ハ至急履歴書持參來社セラレ

新春の小龍は招く 一日の精遊には... 鐵道指定旅館 小龍

平電氣鑄鋼所 合資會社 電話 小名一〇三

武勳 兩角大佐平入り 明後日市内遺族と面會

郷土勇士の慈父と慕はれた武勳大佐は福島を経て仙台から東京の途中明後日午後五時五分平塚で歸京の途程である...

公會堂で慰靈祭

同日平塚に下車した兩角大佐は各種團體、中小學生生活協会の代表者と共に公會堂に集り、兩角大佐の遺族を慰霊する...

町村長總會

石城町町長文會總會は十二日午後六時、町村長總會を開き、町村長十七名が出席した...

無料宿泊所設置

社會課の新計畫

市の十四年度豫算は豫算の如く目下各課毎に編成中であるが、十三年度の豫算執行を顧みれば、考慮の餘地が乏しいので、慎重に十四年度の豫算を編成する...

啓者 見山敬一(六ノ三)菊地武彦 吉田勳(高一ノ一)近藤正雄 大竹太...

應召後二百餘日に 殘された戦争文學

矢吹軍曹の遺品日記抄

(午前七時令狀に接す。終るる應召以来の血染の日記。日記に在り、家事の仕事その他思ひ出の品々が父君の整理及び應對し昭和十一年一月一日に...

健氣軍國の母

前線の子にその死を秘む 高久村水門田中久義氏妻の日記に在り、家事の仕事その他思ひ出の品々が父君の整理及び應對し昭和十一年一月一日に...

奥亞新日本を背負ふ市制地に於ける超現代的三、陽聲城新聞社。鶴崎清彦新しがりに陶酔する現代の...

大氣は凍る曉闇に 磐中生汗の武道訓練

水點下何度、雨まで込み透 十分六分三十分 放課後の前記兩班は地元以縣南浦那見町生れ某...

出生は春が一番

秋風立ちて逝く人々 昨年中の戸籍を見る 本市役所昨年中の戸籍を取扱はせてゐるが、更に出生、死亡、結婚、離婚、分家、婚姻を別に見ると...

戦傷が殘念

市丙内銀町出身 伊藤金二郎君(信) 戦傷が殘念 松本茂雄君 汪生非戦員として従軍...

Table with columns: 月別出生、死亡、婚姻、離婚. Data for 昭和十四年.

生徒募集 昭和十四年度募集人員 本 科 (修業年限二ヶ年) 五〇名 技 科 (修業年限二ヶ年) 五〇名...

重田眼科 平塚市 元貯蓄銀行跡 眼鏡一般 醫師重田景治 平塚市町一番地 北川外科 外科一般 泌尿器科...